

英語学習指導案（英語表現 I）

指導月日：令和 2 年 11 月 10 日

所属学校名：加治木高等学校

授業者：先間 竜也

クラス：1 年 2 組

1 教材名

COMPETENCY BACED LEARNING[CBL] ミッション 楽しみながら環境を保全せよ！

The Glastonbury Effect

2 教材観

使用する教材は、アクティブ・ラーニングの視点から、「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、ベネッセコーポレーションによって開発されたものである。教材で紹介される話題の中には課題が示されており、それを生徒が自分のこととして捉え、他者との対話を通して考えをまとめていくように構成されており、生徒が創造的思考力を働かせて解決策・改善策を考えたり、他者の考えと比較したりする活動が中心となる。今回、「英語表現 I」の授業において本教材を使用し、生徒が主題に関する情報を英語で得て、自分の考えを英語で伝える活動を行う。また、本時では、教材の主題に関する活動に加え、生徒自身が学習内容を自分の生活や経験に置き換えて思考し、表現する活動にまで発展させたい。

3 学級観

学習意欲が高く、英語学習にも必要感をもって取り組んでいる。また、ペアワークやグループワークでは積極的に活動に取り組むことができる。しかし、話す活動や書く活動については苦手意識をもつ生徒も少なくない。「英語表現 I」では少人数制の授業形態の中で「話す・書く」の言語活動による自己表現を行う機会を設けるようにしている。英語を即興で話す場面に際して、生徒が英語で表現でき得るタスクの難易設定に留意したい。

4 単元の目標

- (1) 得た情報や示された課題に対して、自分なりの解決策・改善策を考える。（コミュニケーションへの関心・意欲・態度）
- (2) 英語で得た情報をもとに、自分の考えを英語で伝える。（外国語表現の能力）
- (3) 素材となる主題について英語で情報を得て、内容を大まかに理解する。（外国語理解の能力）
- (4) 英文のロジックに従い、内容に一貫性のあるスピーチをする。（言語や文化についての知識・理解）

5 単元の評価規準

1 コミュニケーションへの関心・意欲・態度	2 外国語表現の能力	3 外国語理解の能力	4 言語や文化についての知識・理解
A 他者の意見を聞き、理解しようとしている。 B 得た情報を踏まえて、自分の考えを積極的に伝えようとしている。 C 主題を自分のこととして捉えようとしている。	A 簡単な英語で、自分自身の考えや経験を伝えることができる。 B グラストンベリーフェスティバルのごみ問題について考察した内容を英語で表現することができる。	A グラストンベリーフェスティバルに関する情報を大まかに理解することができる。 B 他者の経験や考えを英語で聞き、理解することができる。	A スピーチ特有の表現や効果的なジェスチャーについて理解している。

6 単元の指導と評価の計画（全3時間）

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準	評価方法
1 本 時	<ul style="list-style-type: none"> 内容理解 課題の考察と表現活動 	<ul style="list-style-type: none"> 課題について、生徒に役割を持たせて多面的・多角的に考察させる。 他者の考えを聞き、感想や疑問点を自由に伝え合う場面を設定する。 英語で聞いた情報をもとに、自身の生活や経験と重ねて考えさせる。 	1A 1B 1C 2A 2B 3A 3B	活動の観察 自己評価
2	<ul style="list-style-type: none"> グラストンベリーフェスティバルのごみ問題に対する解決策・改善策について前時の内容を踏まえて英語で書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 論理的に相手に伝えるために、文章の構成に従い、伝える情報を整理・配列することを意識させる。(ロジックやディスコースマーカー等) 	1B 2B 4A	原稿の評価
3	<ul style="list-style-type: none"> グラストンベリーフェスティバルのごみ問題についてスピーチをする。 スピーチを聞き、即興で英語の質疑応答をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 速度や強弱、非言語的コミュニケーションに留意して英語を話させる。 	1A 1B 1C 2B 3B 4A	活動の観察 自己評価

7 本時の目標及び評価規準

(1) 本時の目標

- ① 課題を自分のこととして捉え、解決策・改善策を考える。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ② 英語で得た情報をもとに、自分の考えを英語で伝える。(外国語表現の能力)
- ③ 英語で情報を得て、主題や他者の考えを理解する。(外国語理解の能力)

(2) 評価規準

1 コミュニケーションへの関心・意欲・態度	2 外国語表現の能力	3 外国語理解の能力	4 言語や文化についての知識・理解
A 他者の意見を聞き、理解しようとしている。 B 得た情報を踏まえて、自分の考えを積極的に伝えようとしている。 C 主題を自分のこととして捉えようとしている。	A 簡単な英語で、自分自身の考えや経験を伝えることができる。 B グラストンベリーフェスティバルのごみ問題について考察した内容を英語で表現することができる。	A グラストンベリーフェスティバルに関する情報を大まかに理解することができる。 B 他者の経験や考えを英語で聞き、理解することができる。	

8 本時の実際

過程	生徒の学習活動	教師の活動及び指導上の留意点 (ALP)	[評価規準]	評価方法
導入	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 本時の学習内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 本時の学習内容を伝えて、見通しをもたせる。 		
展開1	<ul style="list-style-type: none"> 催し事や習い事、部活動の大会等でこれまでに参加した思い出や今後参加してみたいイベント等について英語で伝え合う。 スライドが示していることや、そこから類推できること等を英語で伝え合う言語活動を通して、グラストンベリーフェスティバルとそれが抱える課題について知る。 グラストンベリーフェスティバルが抱えるごみ問題の改善策・解決策をグループで話し合い、英語で伝える準備をする。 グループで話し合ったことを英語で発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の表現活動を進行し、必要に応じてサポートする。(A5) (A6) スライドが何を示しているか、またはスライドから何が読み取れるかについて発問する。(A1) (B2) (C2) 生徒が多面的に考察できるように、農家、プロモーター、ロックスター、観客等の具体的な立場で考えさせる。(A1) (A5) (A6) (C2) グループの構成員に自分の立場を明示して考えを発表させる。(A5) (A6) 	[1A] [1B] [1C] [2A] [2B] [3A] [3B]	活動の観察
展開2	<ul style="list-style-type: none"> 展開1で話し合った自分の思い出等に関することを、主催者側や環境面等の別の視点から考える。 気づいた点等を英語で伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 展開1で話し合った自分の思い出等に関することを、主催者側や環境面等の別の視点から考えさせる。(A1) (A11) (B9) (C2) 	[1A] [1B] [1C] [2A] [3B]	活動の観察
終末	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容を整理して伝える。(B9) (C2) 本時の活動を踏まえて、今後物事をどのように捉えるようにしたいかを問う。(B2) (B9) 		

9 研究授業を終えて

2018年3月に告示された高等学校学習指導要領によれば、『4技能（「聞くこと」・「読むこと」・「話すこと（やり取り）」・「話すこと（発表）」・「書くこと」）の5つの領域別の言語活動及び複数の領域を結びつけた統合的な活動を通して総合的に指導する』とある。したがって、「読む」「書く」等の複数の技能を統合させ、情報や考え等を的確に理解したり、適切に表現したりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成するような授業デザインを英語教師は考案しなければならない。そこで、英語における4技能5領域のうち、「やり取り」の技能にねらいを定め、研究授業を行った。素材となる英文を音声のみで提示し、教材の主題を複数のスライドだけで捉えさせたが、生徒に即興で英語を話させることにおいて効果的だったように思う。さらに、学習内容を自分の生活や経験に置き換えて思考し、表現する言語活動も生徒は概ね達成した。今後も継続して取り組み、教科指導の研鑽に励みたい。